

地元説明会質疑応答内容(概要)

(別紙)

番号	質問の内容(概要)	回答(概要)
1	解体の説明会なので資料がないのかかもしれないが、施設解体後に何がなくなつて何が残るのか?調整池は残るのか?また、跡地の利用は?	指摘のとおり、今回の工事は建屋の解体と解体後の造成までが事業の範囲のため、跡地利用をどうするかという資料は添付していない。跡地の用途としてはリサイクルの促進に寄与する施設として資源物の保管庫(ストックヤード)を予定している。再来年度に設計を行つたうえで建設する予定。 今回解体するのは、説明資料で色付けした部分の建物。斜面を利用した施設のため、解体したままにしてしまうと10m以上の崖ができてしまうので、法面を造成する。既設の管理用道路と調整池はそのまま残す予定。
2	かなり高い建物で風の影響を受けやすいと考える。工事期間中に台風シーズン等、強風の時期が含まれるがどの程度の風まで耐えられるか?	汚染物除去は令和3年春ごろには完了している予定であり、台風シーズンとは重複しない。 仮設については、この地域の風のデータを基に構造計算し、その風に耐えられるように設計している。具体的には風速16mを想定している。これよりも強い風が予想される場合はシートを外すなどして風の影響を減らす予定だが、汚染物除去作業中はシートを外すことができない。自然現象のため、どこまで想定して仮設をするかというのは非常に難しいが、事故が起こらないよう市と受注者協議のうえ適切に進めしていく。
3	最大で40往復程度の資材運搬車等の出入りがあるとのことだが、この場所は多くの子供が散歩に使っている。また、県道との合流地点は信号機のない交差点であり、朝夕の通勤時間帯はかなりの渋滞が予想される。交通事情に応じて交通誘導員を適切に配置するとあるが、交通事情等に關係なくしっかりと配置してもらいたい。	朝夕の通勤時間帯は工事車両を出入りさせないなどの対応を考えている。現段階では、どの時期にどのくらいの車両の出入りがあるか分からぬため、今後工事の進捗に合わせて市と受注者で協議のうえ、適切に交通誘導員を配置していく。
4	アスベスト含有建材等の産業廃棄物の処分先は決まっているか?	アスベスト含有建材の処分先については、現在検討中であり未定だが、年内に処分する油脂類や残灰等については富山に処分場があるため、そちらに搬出する予定。
5	年末年始の工事予定は決まっているか?	今年度の年末年始については、12/26(土)～1/5(火)までは工事は休みの予定。
6	汚染物の危険性について教えて欲しい。	市で事前に行った汚染物の事前調査で施設内の特定箇所から比較的高い数値のダイオキシン類が検出されている。 ダイオキシン類は急性毒性がないので、それを浴びたからといって直ちに健康被害が出ることは無いが、遺伝子毒性はあるので、子や孫などの世代に発がんなど影響ができる可能性はある。周辺環境に飛散しないようにするの勿論だが、作業員の被ばくがないように作業を行う。
7	旧センター南側にはホタルの里(ビオトープ)があり、住民もいる。工事優先でなく住民第一で工事を進めてもらいたい。	意見として承る。